

ヒーター線の交換

(シールが付かない、密封ができない、発熱しない場合)



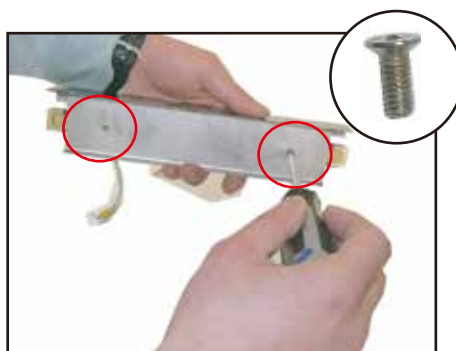
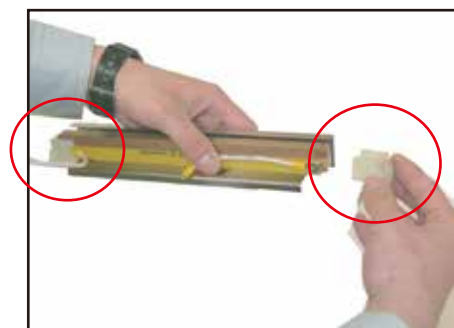
棒部分を引っ張ると、ヒーター線を巻く工具と、プラスドライバーにもなります。



①付属品から、写真の部品、道具を取り出します。さらに、ご自身でニッパーと、カッターをご用意ください。

②両サイドの導線を本体に止めてあるプラスのネジを外します。(2箇所)

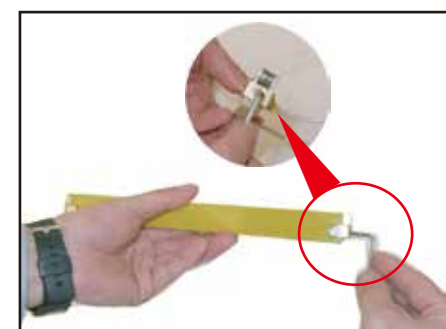
③シールユニットの袋を押さえる棒を外すため、両側のプラスのネジを外します。(2箇所)



④両サイドのプラスチックのパーツを引っっこ抜きます。(2箇所)

⑤シールユニットの裏側のネジを外します。(2箇所)

⑥テフロンテープ (茶色いテープ) をはがします。



はみ出しを0~2ミリにする(重要)



⑦写真の位置の六角穴付きボルトを緩めます。(左右2箇所)すると、ヒーター線が外れます。

⑧今度は新しいヒーター線を取り付けます。このとき、はみ出し部分を0~2ミリにしてください。

⑨反対側のヒーター線を金具に通し、手である程度、引っ張ります。

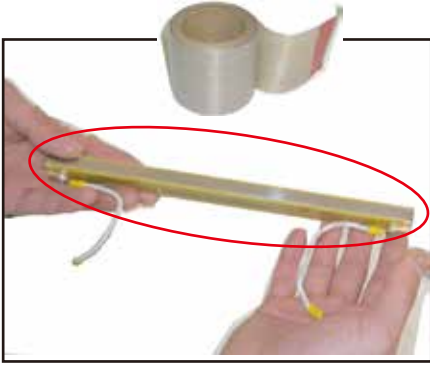


⑩はみ出したヒーター線を特殊工具でしっかりと張ります。もう片手で6角ネジを締めて、固定します。

⑪余った部分をニッパーでカットします。このときもぎりぎり短くカットしてください。黄色の土台より、はみ出したらアウトです。(重要)

▶
裏面へ

テフロンテープ



⑫この上に、テフロンテープを貼ります。はさみで切って貼ってください。



⑬金具部分にかかった余分なテープを形に合わせてカットすると、はがれにくいです。



⑭あとは逆の手順で各部品を取り付ければ完成です。

本体に取り付ける前に今一度チェックしてください。

○良い例



ヒーター線が黄色の土台より、はみ出していない。

× 悪い例



ヒーター線が黄色の土台より、はみ出している。

ヒーター線が土台よりはみ出していると、チャンバー室に接触してしまい、漏電となって発熱がうまくできません。また故障につながるので、お気をつけください。

ヒーター線を交換しても直らない場合、シールユニットの両サイドの2本の導線が劣化している可能性が高いです。



劣化した導線



断線している、または断線しそうだ。
(端子部分を手で引っ張ってみて、ぽろっと取れるようだとアウトです。)